

第24回国立大学図書館協議会総会

6月2日～3日、東京の一橋講堂および如水会館において標記の総会が開催された。

〔第1日〕は諸報告、協議、研究集会等が行われたが、その主なものを紹介すると、

各調査研究班ではまず**図書館機械化調査研究班**が①大学・研究図書館機械化の現状とその展望、②MARCの利用とその将来、③学術雑誌総合目録とデータベース、④日本MARCと大学図書館、⑤大型学術情報データベースと大学図書館等の5項目について報告書を作成中、「**大学図書館改善**」調査研究班は「国立大学図書館改善要項改訂のための試案」を4年にわたる調査研究の成果としてとりまとめた。**外国雑誌調査研究班**は第1年次（昭和50年度）の作業を締めくくる意味で「主要二次刊行物収載外国雑誌の国内所在分布調査集計表」を作成、また第2年次のアンケートについて「一括契約購入外国雑誌に関するアンケート」集計表を作成した。

図書館相互協力調査研究班は①国立大学附属図書館文献相互利用綱領、②文献複写申込書式、③著作権法と大学図書館の文献複写、④文献複写の方法、⑤文献複写事務手続についての要望事項をそれぞれとりまとめた、等の報告が各班からなされた。

研究集会は「大学図書館の基本問題をめぐって」というテーマで行われ、はじめに**大学図書館**

基本問題特別委員会の報告という形で安藤委員長（東大）から基本問題の論点となった大学図書館の性格、地位役割、管理体制、財政問題、中央図書館と部局図書館、教官専任および専門員、機械化、選書体制、相互協力等についての討議結果の紹介と意見が述べられ、短時間ではあったが有益な討議がなされた。

〔第2日〕は分科会が行われ、**第1分科会**（一般事項および運営に関する問題）では、①大学院での図書館学教育、②図書館資料の収集選択、③中央館と分館、部局図書館（室）との関係について等について、**第2分科会**（予算、人事）は、**予算問題**では、①図書館維持費、②図書購入費、③冷暖房設備、④研修旅費、図書館調査研究の助成。また**人事問題**では、①職員の増員、②時間外開館対策、③事務機構の整備と職制定数、④待遇改善等について、さらに**第3分科会**（サービスおよび技術的問題）では①基本的文献の整備・利用に関する図書館相互協力、②図書館における講演会、展示会、映画会等の在り方、③図書館業務の簡素化、④身障者学生の受入対策、⑤学術雑誌総合目録人文科学欧文篇（改訂版）の早期刊行（これは新要望事項）等について討議が行われた。なお各分科会から出された要望事項は7月4日の常務理事会でとりまとめられる予定である。

本年度岸本奨励賞は東京大学総合図書館目録業務機械化研究グループ他3者が受賞した。またこの奨励賞は国立大学図書館協議会賞と改称することになった。

人事往来

ファーリィ博士：米国の国立農業図書館の館長であるファーリィ博士は日本における農学図書館の実情視察のために来日し、5月14日（土）本学を訪問した。午前中は附属図書館の見学の後、農学部図書室を見学し、学部長および図書委員長と

懇談した。午後は農学部の図書職員を中心とし、自然科学系の図書職員もまじえて約1時間半にわたり農学図書館の問題について親しく意見を交換した。